
第 66 報 平成 26 年 11 月 17 日

東日本大震災 災害復旧資材供給情報

復旧・復興工事に関わる 建設資材等の需給動向

一般財団法人 経済調査会

【 生コンクリート／仙台 】

仙台地区の生コンクリート(21-18-20)はm³当たり1万4,000円どころを横ばいで推移している。これまで復旧・復興工事が当地区での需要の中心であったが、現在では仙台駅周辺再開発に伴う大型商業ビル建築など震災前と同様、民需主体に戻りつつある。荷動きは前年より鈍く、上期出荷量は協組想定より15%程度下回っている。こうした需給緩和の状況を反映して、一部の取引きで軟化気配も見受けられたが、今後、県発注工事の増加が見込まれるだけに、当面、横ばい推移が続く見通し。

【 生コンクリート／亘理 】

亘理地区の生コンクリート(21-18-20)はm³当たり1万8,000円と前月比500円上伸した。当地区では震災から3年半を経過した現在でも復興工事が増加しており、需要量は震災前の3倍近くにまで達している。協組側は、復興プラント・骨材工場の新設など設備増強コストや内陸部工場からの運搬車両・人員応援に伴うコスト増を理由に売り腰を強めてきた結果、ここにきて値上げが浸透した。今後、県発注の工事が本格化するものと見られており、先行き、強含み横ばいで推移する見通し。

【 石油製品（軽油・ローリー渡し）】

原油価格の下落が続いていることを背景に、元売卸価格は3週連続で引き下げられている。そのため、流通側の売り腰は軟化しており、価格は前月比3,000円下落し、KL当たり11万4,500円(仙台)となった。足元、為替相場が円安に進行しているため、元売卸価格は下げ止まっているが、流通側の価格競争は当面続く見通し。先行き、弱含み。

【生コン、アスファルト混合物工場の稼動状況について】

当会ホームページの「災害復旧資材の供給情報提供窓口」では、被災地への資材供給に関わる生コン、アスファルト混合物各工場の稼動状況が一目で分かる地図を掲載しています。稼動状況に変更があれば、随時、情報を更新してまいりますので、併せてご覧ください。

※ 災害復旧資材の供給情報窓口 <http://www.zai-keicho.or.jp/fukkyu/index.php>

【問い合わせ先】 一般財団法人 経済調査会 土木第一部・土木第二部
TEL : 03-3543-1471 FAX : 03-3543-2182

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
生コンクリート 建築標準物 (21-18-20) 単位:m3 (P78~)	青森県	八戸	2014年 9月号	700円/m3上伸 1万4,000円	11月7日		均衡	横ばい
	岩手県	宮古	2014年 8月号	1,500円/m3上伸 2万2,750円	11月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	2013年 12月号	1,500円/m3上伸 1万5,900円	11月7日		ややひっ迫	横ばい
		久慈	2013年 8月号	1,200円/m3上伸 1万4,700円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	1,000円/m3上伸 1万7700円	11月7日		ひっ迫	強含み
	宮城県	仙台	2013年 7月号	2,000円/m3上伸 1万4,000円	11月7日	これまで復旧・復興関連工事が主体であったが、主要大型案件への出荷対応もピークを過ぎ、仙台駅周辺再開発に伴う大型商業ビルの建設など、震災前の民需主体の需要構造に戻りつつある。荷動きは前年よりも鈍く、またコンクリート二次製品への転換が予想外に進んでいることもあって、上期出荷量は協組における震災以降の当初出荷想定量に対し、平均15%程度下回った。需給状況が一時緩んだこともあり、一部の取引きにおいて軟化気配も見受けられたが、今年度発注ピークといわれていながら上期は本格化していなかった県工事の発注が、今後、本格化することが見込まれており、当面、横ばい推移が続く見通し。	ややひっ迫	横ばい
		石巻	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万5,900円	11月7日		ややひっ迫	横ばい
		石巻(雄勝)	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万7,700円	11月7日		ややひっ迫	横ばい
		気仙沼	2013年 12月号	1,000円/m3上伸 1万6,700円	11月7日		ややひっ迫	横ばい
		亘理	2014年 12月号	500円/m3上昇 1万8,000円	11月7日	当地区ではJR常磐線の内陸移設工事の他、集団移転に伴う宅地開発工事など震災から3年半を経た現在も復興工事を主体とした需要は増加しており、震災前の3倍近い需要量となっている。こうした中、協組では、復興プラントの新設とこれに関わる新規骨材工場の新設など、製造設備増強コストの未転嫁分のほか、増大する需要に対応すべく内陸部工場からの車輛・人員応援に伴うコスト増を理由に、4月以降の販売価格をこれまでよりもm3当たり500円値上げするとし、強気の姿勢で販売を行ってきた結果、ここにきて値上げが浸透した。下期以降、県工事の本格化でさらなる需要増加が見込まれており、先行き、強含み横ばいで推移する見通し。	ややひっ迫	強含み横ばい
		松島	2013年 8月号	900円/m3上伸 1万5,900円	11月7日		ややひっ迫	横ばい
		南三陸	2013年 12月号	1,000円/m3上伸 1万6,700円	11月7日		ややひっ迫	横ばい
	福島県	いわき	2014年 4月号	1,000円/m3上伸 1万3,000円	11月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 6月号	2,000円/m3上伸 1万5,000円	11月7日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砂 荒目(洗い) 単位:m3 (P170~) ※南相馬は 細目(洗い) の価格を掲載	青森県	八戸	2014年 3月号	300円/m3上伸 3,800円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,300円	11月7日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2012年 8月号	「-」表示	11月7日		-	-
		久慈	2013年 8月号	1,000円/m3上伸 4,500円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	300円/m3上伸 3,700円	11月7日		ひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/m3上伸 3,400円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,600円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 2月号	100円/m3上伸 4,200円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2014年 2月号	300円/m3上伸 5,200円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,400円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 2月号	200円/m3上伸 3,200円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2014年 2月号	300円/m3上伸 4,800円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2014年 6月号	300円/m3上伸 3,950円	11月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 10月号	300円/m3上伸 3,900円	11月7日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
コンクリート用 砕石 20～5mm 単位:m3 (P170～) ※宮古は 砂利25mm以下 の価格を掲載	青森県	八戸	2014年 11月号	200円/m3上伸 4,100円	11月7日		均衡	横ばい
	岩手県	宮古	2013年 3月号	300円/m3上伸 4,200円	11月7日		ひっ迫	強含み
		大船渡	2014年 9月号	100円/m3上伸 3,700円	11月7日		ひっ迫	強含み
		久慈	2013年 8月号	200円/m3上伸 3,500円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	200円/m3上伸 3,600円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/m3上伸 3,900円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2014年 1月号	100円/m3上伸 3,400円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 1月号	100円/m3上伸 3,900円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 8月号	100円/m3上伸 4,000円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2014年 2月号	100円/m3上伸 3,800円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 2月号	300円/m3上伸 4,200円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2014年 1月号	200円/m3上伸 3,800円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2014年 6月号	300円/m3上伸 3,950円	11月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 10月号	300円/m3上伸 3,800円	11月7日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
再生 クラッシュラン 40~0mm 単位:m3 (P170~)	青森県	八戸	2014年 11月号	200円/m3上伸 2,000円	11月7日		ややひっ迫	横ばい
	岩手県	宮古	2012年 5月号	300円/m3上伸 2,200円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		大船渡	2012年 11月号	200円/m3上伸 2,100円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		久慈	—	2,300円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		釜石	2014年 8月号	200円/m3上伸 2,200円	11月7日		ひっ迫	強含み横ばい
	宮城県	仙台	2014年 1月号	200円/m3上伸 2,200円	11月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		石巻	2014年 1月号	100円/m3上伸 2,300円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 1月号	100円/m3上伸 2,800円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		気仙沼	2013年 8月号	100円/m3上伸 2,300円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
		亘理	2013年 8月号	200円/m3上伸 2,100円	11月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		松島	2014年 1月号	200円/m3上伸 2,400円	11月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		南三陸	2013年 8月号	200円/m3上伸 2,600円	11月7日		ややひっ迫	強含み横ばい
	福島県	いわき	2014年 6月号	100円/m3上伸 2,150円	11月7日		ひっ迫	強含み横ばい
		南相馬	2013年 3月号	300円/m3上伸 2,200円	11月7日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(地場資材)

資材名 (積算資料 掲載ページ)	県名	地区名	直近の価格変動(2011年4月号以降)		確認日	供給体制、需給動向、価格動向、今後の見通し	先行き	
			変動 月号	変動額(率) 現在価格			需給動向	価格動向
アスファルト 混合物 密粒度(13) 単位:t (P298～)	青森県	八戸	2013年 9月号	700円/t上伸 1万2,800円	11月7日		均衡	強含み横ばい
	岩手県	宮古	2014年 4月号	800円/t上伸 1万5,600円	11月7日		ややひっ迫	横ばい
		大船渡	2014年 4月号	800円/t上伸 1万4,800円	11月7日		均衡	横ばい
		久慈	2014年 4月号	600円/t上伸 1万4,900円	11月7日		ややひっ迫	横ばい
		釜石	2014年 4月号	800円/t上伸 1万4,900円	11月7日		均衡	横ばい
	宮城県	仙台	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,200円	11月7日		均衡	横ばい
		石巻	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,500円	11月7日		ややひっ迫	横ばい
		石巻(雄勝)	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,800円	11月7日		ややひっ迫	横ばい
		気仙沼	2014年 2月号	300円/t上伸 1万3,200円	11月7日		均衡	横ばい
		亘理	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,200円	11月7日		均衡	横ばい
		松島	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,300円	11月7日		均衡	横ばい
		南三陸	2014年 2月号	300円/t上伸 1万2,700円	11月7日		均衡	横ばい
	福島県	いわき	2014年 4月号	800円/t上伸 1万3,100円	11月7日		均衡	横ばい
		南相馬	2013年 12月号	700円/t上伸 1万3,150円	11月7日		ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	鋼材	9 ～ 11	鋼矢板・鋼管杭	11月11日	鋼管杭については、大型プロジェクトが多数控えるなど需要は旺盛で、メーカーは納期調整に苦慮している。特に鋼管矢板をはじめとした加工度合いが高い製品は、年度末の納期に対しても厳しい状況となりつつある。需給はタイトな状況が続いており、先行き、強含みの見通し。鋼管杭も、渇水期を迎え、需要は徐々に増えており、好調であった昨年並みの引き合いが出てきている。ただ、鋼管杭ほどのタイト感はないため、価格は現行同値圏内で推移する見通し。	ひっ迫	強含み
		18 ～ 21	異形棒鋼	11月11日	土木工事向けの需要は堅調であるが、住宅着工戸数が減少するなど好調であった昨年ほどの引き合いはなく、需給にタイト感は見られない。加えて、鉄屑価格の下落を背景に、需要家からの値下げ要求も強まり、kg当たり前月比2円下落し、66円(仙台)になった。鉄屑価格は下げ止まりの気配だが、需給は引き締まりを欠く展開が続くもようで、先行き、弱含みで推移する見通し。	やや緩和	弱含み
	セメント	72	セメント(バラ)	11月7日	沿岸部では復興道路や漁港関連を中心に需要は旺盛。さらに、岩手、福島においては内陸部も横断道路関連工事が本格化しつつあり、生コン向け、工事口ともに需要は増大している。メーカー側は昨年からの増産体制を整えており、今のところ供給に支障はないものの、今後の需給動向によっては運搬車両不足が懸念される。価格は、沿岸部においては徐々に値上げの浸透が見られており、今後、需要が見込める内陸部を中心に、メーカー側は売り腰を強めているだけに、交渉の成り行きが注目される。目先、強含みながら横ばい推移の見込み。	ややひっ迫	強含み横ばい
	型枠材	209	コンクリート 型枠用合板	11月6日	仙台地区の価格は、12×900×1800mmで枚当たり1,340円どころと前月比40円の上昇。円安による先高感から、需要家側は早めの手配を済ませており荷動きが活発化、一部で品薄の規格が生じている。今後もさらなる高値製品の入荷が控えているため、販売側では一層、売り腰を強めていく構え。先行き、強含み。	均衡	強含み
	木材	224 ～ 227	仮設・土木用 木材	11月6日	沿岸部では、海岸堤防(防潮堤)向けにまとまった数量の引き合いが続いている。品薄状態は一服し、現在入荷は順調。価格は高止まりしており、今後も需要が見込まれることから、先行き、横ばいで推移する見込み。	均衡	横ばい
228 ～ 235		一般建築用 木材	11月6日	需要は災害公営住宅の建設が本格化してきており、民間の需要減を補完する形となっている。ただし、職人不足や資材不足の影響から、需給の回復に結びつくかどうかは予断を許さない。価格は先行きも動向薄く、横ばいで推移する見通し。	均衡	横ばい	

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
共通資材	石油製品	248 ～ 250	石油製品 (軽油・ローリー渡し)	11月11日	原油価格の下落が続いていることを背景に、元売却価格は3週連続で引き下げられている。それを受けて、流通側の売り腰は軟化しており、価格は、前月比3,000円下落し、KL当たり11万4,500円(仙台)となった。足元、為替相場が円安に進行しているため、元売却価格は下げ止まっているが、流通側の価格競争は当面続く見通し。先行き、弱含み。	やや緩和	弱含み
	仮設関連資材	252(販売) 282(リース)	仮設足場	11月4日	リース材の稼働率は前年並で推移している。今後、例年通り需要期に入るため、年度末にかけて需給はひっ迫する見通しで、供給不安への懸念も生じている。稼働率は好調に推移しているものの、リース価格に変動はみられない。先行き、横ばいで推移する見通し。	ややひっ迫	横ばい
	各種 賃貸料金	264 ～ 270	建設機械器具 賃貸料金	11月11日	東北地区では復興関連の物件が一巡し、大手レンタル事業所の買入れの影響もあって需要は一段落の様相を呈している。当面、現行水準を横ばいで推移する公算が大きい。一方、移動式クレーン作業料金については、引き合いの増加やオペレータ不足の影響を受けて、ラフテレーンクレーン25t吊りが日当たり55,000円(東北)と前月比3,000円上伸した。	均衡	横ばい
		271 ～ 281	仮設鋼材 賃貸料金	11月11日	<p>【鋼矢板・H形鋼・鋼製山留材・鋼製覆工板】</p> <p>震災復興工事関連の需要は堅調で、仮設鋼材の稼働率は高水準を維持している。特に鋼製覆工板を中心に需給はひっ迫しており、鋼矢板、H形鋼に関しても一部サイズ、長さで歯抜けが生じており、急な引き合いには対応できない場合もみられる。鋼材原料の値下がりなどもあり、需要家は値下げも視野に価格交渉を進めているが、需給タイトな状況下、リース業者の販売姿勢は引き締まっており、賃料は高止まりしている。東北、関東を中心に今後も旺盛な需要が見込まれており、先行き、強含み。</p> <p>【敷き鉄板】</p> <p>東北地区は旺盛な復興関連需要を背景に引き合いは好調。一部では供給難や供給遅れが生じるといった事例も散見される。一方、在庫保有量が多い関東地区も需要は底堅く、リース業者各社は、在庫を比較的引き合いの少ない西日本から東日本にシフトしている。鋼材価格に大きな変化はないが、需給はタイトな状況で賃料は高止まりの状況。今後も、東北、関東地区を中心に需要の増加が見込まれ、先行き、強含み。</p>	ひっ迫	強含み

東日本大震災 復旧・復興工事における主な資材の概況 月刊「積算資料」掲載品(一般資材)

分類①	分類②	積算資料 掲載ページ	品名	確認日	供給体制・需給動向	先行き	
						需給動向	価格動向
土木資材	舗装用材	299	ストレートアスファルト	11月11日	東北地区における復興関連工事向けの出荷が一巡し、需要の伸びは縮小傾向にあるが、被災3県における混合物製造量は震災前の1.5～2倍の高水準が続き堅調に推移。一方、全国のスト・アス需要は前年並みから若干減少しており、供給そのものに支障は生じていない。 販売筋は、輸送コストの上昇分を確保する意味から、現行価格を維持したい意向だが、原油価格の下落が止まらないだけに、先行き、弱含みで推移する見通し。	均衡	弱含み
建築資材	内外装材	576	針葉樹 構造用合板	11月6日	7か月ぶりに出荷量が生産量を上回り、荷動きはやや回復しているものの、市中の在庫量は多く、需給は緩和傾向にある。仙台地区の価格は、12×910×1820mmで枚当たり980円どころと前月比20円下落。メーカーは減産を継続するものとみられるが、需要回復の見込みは薄く、弱含み推移する見通し。	やや緩和	弱含み
電気設備資材	電線・ケーブル	612 ～ 613	600V 架橋ポリエチレン 絶縁ビニル シースケーブル(CV)	11月6日	足元の復興関連需要は、依然として土木関係が中心で、電線・ケーブルの荷動きについては堅調とはいえ小規模案件が多い。復興需要の本格化はまだ先の見通しで、現状、メーカーでは平常どおりの生産体制となっている。下期の需要期に入り、全国的に荷動きは堅調だが、供給体制についても現時点では支障なく、平常どおりの供給が可能。	均衡	横ばい
機械設備資材	配管材	782 ～ 783	硬質ポリ塩化 ビニル管	11月6日	官需では下水道関連および津波の塩害が残る農地関連の復旧工事が本格化し、上下水道用・農水用製品の価格が上伸したが、建築・設備用製品については一部で公営住宅等建築関連の荷動きがあるものの、震災復興関連需要が価格動向に与える影響はほとんど出ていない。メーカー側は昨年春に続いて、今春からさらなる値上げを打ち出し採算改善に懸命だが、民需の低迷から全国的には荷動きが鈍く、安値契約の解消を進めつつ市況維持を図っている状況。供給体制そのものに支障はみられず、先行き、強含み横ばい。	均衡	強含み横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「土木施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
土木工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	3 ～ 9	11月4日	被災三県(岩手、宮城、福島)の土木系鉄筋工事需要は、復興工事の継続的な発注と自治体等の大型工事の発注が重なり、昨年度末のようなひっ迫した状況になりつつある。鉄筋工の不足に解消の兆しはなく、元請のゼネコン各社では、専門工事業者に幅広く声を掛けて職人の確保に努めている。 こうした中、専門工事業者側では、数年にわたり下落した単価を適性な水準に戻したい、との意向を強めており、強気な交渉姿勢を維持している。オリンピック関連工事も含め、鉄筋工需要のさらなる増加が見込まれる中、先行き、強含みで推移する見通し。	ややひっ迫	強含み
港湾工事 市場単価	鉄筋工 (手間のみ)	442 ～ 445	11月6日	被災三県(岩手、宮城、福島)の港湾工事は、国・自治体等、復旧・復興関連工事が引き続き進められている中、昨年度末に複数件発注されたトンネル・橋梁等大型工事の影響もあり、以前から続く職人不足が解消される兆しは見えていない。特に鉄筋工については専門工事業者の強気な交渉姿勢から堅調な価格推移が続いている。 こうした状況から、鉄筋工の市況形成は専門工事業者が主導権を握っているものの、『土木施工単価』秋号で5%程度上昇したのち、今のところ価格には目立った動きは見られない。目先、横ばい推移の見通し。	ややひっ迫	横ばい
	型枠工 (材工共)	450 ～ 453	11月6日	被災三県(岩手、宮城、福島)では、災害復旧工事を中心とした港湾工事が多く発注されており、職人不足の状況が続いている。こうした中、港湾工事業者側では価格面よりも労働者確保を優先したことから、型枠工は『土木施工単価』秋号で5%前後の価格上昇となった。 港湾工事業者側では、内陸部での土木、建築工事を含めた今後の工事発注量次第では、さらに職人不足が深刻化するのではないかと懸念も生じているが、現状では価格面に大きな変動は見られず、目先、横ばい推移の見通し。	ややひっ迫	横ばい

東日本大震災 復旧・復興工事における主な工種の概況 市場単価(季刊「土木施工単価」「建築施工単価」掲載工種)

◆季刊「建築施工単価」

分類	工種	掲載ページ	確認日	市場動向・概況	先行き	
					需給動向	価格動向
建築工事 市場単価	鉄筋工事 (手間のみ)	10 ~ 13	11月6日	沿岸部の水産加工場等の施設や、内陸部の復興住宅等の工事が本格化しているほか、オフィスビルや住居向け物件も見られる。 職人の稼働率が徐々に高まっており、需給はひっ迫の度合いを強めている。隣接県等からの応援に頼らざるを得ない状況にも変化はなく、職人不足が解消されるメドは立っていない。先行き、強含みで推移する見通し。	ひっ迫	強含み
	型枠工事 (材工共)	18 ~ 21	11月6日	沿岸地域の水産加工場や、内陸部の復興公営住宅等の工事が本格化しているのに加え、住居・オフィスビル等の物件も継続的に見られる。夏場以降、工事の本格稼働に伴い、労務需給のタイト感がさらに強まっており、総合事業者は型枠工の確保を優先せざるを得ない状況となっている。ここしばらく型枠工不足は続くものと見られ、先行き、強含みで推移する見通し。	ひっ迫	強含み